

2023年10月25日
下地島空港活性化協議会**スカイマーク 宮古(下地島)＝羽田線・神戸線・那覇線が就航3周年を迎えました**
～就航より3年間、延べ71万人のスカイマークのお客様に下地島空港をご利用いただきました～

2020年10月25日にスカイマークの宮古(下地島)＝羽田線・神戸線・那覇線が開設されてから、本日で就航3周年を迎えました。

開設時より新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けてまいりましたが、今年に入りその影響が薄まりつつある中、羽田線開設の契機となった国土交通省航空局実施の「羽田発着枠政策コンテスト」の取り組みが認められ羽田空港発着枠の配分継続が決まったことや、今年7月・8月に宮古(下地島)＝福岡線が新規就航したことが追い風となり、就航より3年間で延べ71万人(※1)、特に昨年同時期(※2)からの1年間で延べ35万人のスカイマークのお客様に下地島空港をご利用いただきました。

(※1) 宮古(下地島)＝羽田線・神戸線・那覇線・福岡線の定期便に加え、臨時便やチャーター便のお客様も含む

(※2) 就航2周年(昨年の10月25日)の時点で延べ36万人のスカイマークのお客様が下地島空港を利用



2023年7月1日スカイマーク福岡線就航時の放水アーチと到着口での歓迎お出迎えの様子

スカイマークの就航3周年にあたり、下地島空港活性化協議会(※3)の会長を務める宮古島市の座喜味一幸市長は以下コメントしております。

「就航より3年間で71万人ものお客様にご利用いただいたのは大変ありがたい。スカイマークの羽田線・神戸線・那覇線、そして今年期間限定ながら新規就航した福岡線合わせて、宮古圏域にいらっしゃるお客様のみならず、多くの島民も利用しており、今やスカイマークは宮古圏域にとって欠かせない存在となっている。各路線を継続していくためにも、地域と航空会社一丸となって盛り上げるべく、引き続き頑張っていきたい。」

(※3) 本協議会は、宮古諸島の受入環境整備や下地島空港の航空路線プロモーションなど、下地島空港活性化に資する各種事業の立案並びに実施することを目的として、2020年8月に沖縄県、宮古島市、(一社)宮古島観光協会、宮古島商工会議所、下地島エアポートマネジメント株式会社にて立ち上げた組織。

本協議会は、今後も官民一体となって下地島空港活性化に向けた施策を立案・推進し、宮古圏域のさらなる活性化を目指します。